# 幡多希望の家

◇◇◇ No.8 ◇◇◇

医療型障害児入所施設
療養介護事業
幡多希望の家

TEL(0880)66-2212 FAX(0880)66-2215
HP ‣ http://www.hatakibou.jp/
Mail ‣ hataki01@mb.gallery.ne.jp
〈発行所〉〒788-0782 高知県宿毛市平田町中山867番地
〈発行日〉2018年9月7日

ブログ更新中

## 施設長便り

第8号

平成30年6月、幡多希望の家に新しい仲間が加わった。彼は5歳の時に、高知市内の病院に入院して以来40年同じ病院で過ごしてきたが、母親が亡くなり、父親も病を得て幡多地方の施設に世話になっている。ご両親が幡多の出身であったろうし、元の病院から転院依頼があり当施設をさせていただくことになった。とはいえ、40年もの長い年月を過ごしてこられた病院からの転院は、ご本人にとっては思いもかけないことであったろうし、そのストレスの強さは並大抵のものではないだろうと想像される。転院に伴う環境の変化によって彼の健康状態が悪化しないように、施設の職員が一体となって対応していくようにと心がけている。

幸い転院後は、軽度の発熱が短期間あった程度で大きな問題は生じていない。枕元の扇風機の風を楽しみながら、鳥羽一郎の音楽を聴いてリラックスしているようである。前病院から持参されたご自身のアルバムの中の子供時代の写真を見ながら「子供のときはかわいかったのね」との職員の労いにニコニコしながら反応している姿を見ると、残念ながら今のところは大きな悪影響を及ぼしているようには見えない。この調子で当施設での生活が安定して行くように願っている。

新しい仲間が増えたかと思っていると、残念ながら7月の初めに入所利用者さんが紹介先の病院で病状が急変して亡くなった。4歳の頃に土佐希望の家に入所され平成9年の幡多希望の家発足当初に入所されている。それから21年幡多希望の家で生活されていたが、その間様々な疾患を発症され、手術治療も受けられている。家族の方は医師から何度も病状が重篤であると説明されていたようだが、今までは何とか危険な状況を切り抜けて来られた。

ご両親は熱心に希望の家に面会に来られていたが、最近は父親が病気がちになり、母親はご主人の世話と息子さんの病状の悪化に伴う入院で疲労が重なっていたと思われる。それに加えて息子さんの急変による死亡はご家族にとって、特に母親にとっては大きなショックであったろうことは、推測に難くない。

重症心身障害児者の方の生命予後の延長に伴って、障害児者の方より先にご両親のほうが体調を崩してしまうケースは多い。両親のうちどちらか一方が障害を持つと、そのケアに追われ、子供さんへの関わりが減少する。こんな時に、高齢になって障害を持った親の方をケアするような施設が一緒にあれば、利用者さん御家族の方ももっと安心出来るだろうと思われるが、なかなかその実現は難しい。近隣の福祉施設で、優先的に利用できるような枠組みがあればいいが、それも難しい。何かいい方法がないかと思案する毎日である。

施設長　山本　洋

〈病棟でのひとコマ〉

短期入所利用中の子供さんが
施設長のお膝に乗っかって
リラックスタイム

# ヘルパー事業所紹介

訪問介護主任　松田

平成19年に開設した訪問介護事業所も早や11年目を迎えました。

当事業所は障害者自立支援法に基づき、自宅で暮らす0歳～65歳までの障害児者の方を対象に、ホームヘルパーが訪問し自立した生活が送れるよう、また介護者の負担軽減を目的とした支援を行っております。その支援内容としては、家事援助（掃除、洗濯、調理、買物等）、身体介護（食事、入浴、体位交換等）など、利用者の方の状態や自宅での困り事等必要に応じたサービスを提供させて頂いております。また、一人での外出が困難な方に対しては、市町村事業の移動支援サービスを利用し、外出支援なども行っております。

開設から11年を迎える事が出来たのは、利用者・家族の方々のご理解、ご協力のおかげだと思っております。利用者の方が日々在宅でいきいき生活されている姿や家族の方の姿勢や考え方をおうかがいする中で、その思いの深さに感銘を受け、訪問の仕事にやりがいを感じながら支援をさせて頂いています。

まだまだ発展途上の事業所ですが、これからも幡多地域の在宅サービスの一端を担っていけるよう、また質の高いサービスが提供できるよう頑張っていきたいと思いますので今後共宜しくお願い致します。

## 編集後記

酷暑と悪天候が交互にやって来るような毎日ですね。先立っての7月豪雨や台風によって、甚大な被害を受けられた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

幸い当施設では大きな被害はありませんでしたが、これからもこのような自然災害は続くと予想されている中、利用者の方々の安全な生活を守る為の対策を思案していかなければならないと改めて考えさせられる今年の夏でした。

## 給食紹介

メニュー

- 散らし寿司
- 鰤の照り焼き
- 梅肉和え
- 清汁
- 黒ゴマプリン

## ちょっとひとこと

休日を使って、広島マツダスタジアムで広島戦の野球観戦をしてきました。車イスの方も安心して楽しめますね。

# 幡多希望の家祭

## 病棟ドライブ外出

## 通園さくらんぼ夏祭り

今年の希望の家祭は、20回目という大きな節目に「希望」をテーマとして5月20日に開催されました。天気も直前まで心配されましたが当日は絶好のお祭り日和となり、過去最高の人数のお客様にお越しいただく事ができました。みなさん楽しく過ごしていただけましたか？

特にステージでは、「一條太鼓」さん、「よさこいチーム　いなん」さんによる大迫力のパフォーマンスに、会場全体がクギ付けにされたのではないでしょうか。

以前より自分が大切にしてきた、近隣の保育園や幼稚園の園児さんと当施設の利用者の方々とのふれあいも、昨年以上に大盛り上がりしたと思います。

最近、テレビなどでは嫌なニュースも多く、私たちの心を痛めることも少なくありません。しかし、希望を持って羽ばたいてほしいという気持ちを込めて選んだテーマ曲「365日の紙飛行機」は、きっとより良い世の中への架け橋になってくれるものと信じています。

多くのボランティアの皆様、ご家族の皆様、外部出店の皆様、紙飛行機を折ってくださった宿毛保育園の園児の皆様等、たくさんのご協力のおかげで、今回も幡多希望の家祭が大盛況のうちに無事終える事ができました。

職員一同、心より感謝いたします。

幡多希望の家祭　実行委員長　日林